

# 低炭素杯2018 挨拶



低炭素杯実行委員会委員長

小宮 宏

皆さん!「低炭素杯2018」のファイナルステージに、ようこそお越し下さいました!

低炭素杯実行委員長の小宮山宏です。昨年の暮れにドイツのボンで「COP23」が開催されました。

そこでは、2016年11月に発効したパリ協定をどのようにして実行に移していくのか、世界規模で国や自治体、企業やNPOなどすべての主体の取組をどうやって進めるのかについて、話し合われました。

異常気象など、現在の地球規模の気候変動を見ると、今後は「低炭素」からもう一歩さらに進めた「脱炭素」に向けた動きが必要になってくるのではないのでしょうか。

こうしたグローバルな視点からも、皆さん!この低炭素杯を、ぜひ、しっかりとご覧になってください!

日本各地で、地球温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減、低炭素社会の構築などにむけて取り組む学生、企業、自治体、そして団体の方々などに加えて、低炭素杯2018からはジュニア・キッズという新しい部門が新設され、小学生や中学生などの代表も多く参加してくれています。

たとえ小さな一歩であっても、そのチカラが集結すれば、地球規模での温暖化防止に役立っていくに違いありません。

今日の晴れの舞台に立つ数々の取り組み、取り組む人たちの姿を、会場にいらっしゃる皆さんもぜひ目に、そして記憶に焼き付けていってください!

それでは皆さん、「低炭素杯2018」スタートです!

2018年2月15日

# 低炭素杯2018 挨拶

## 環境大臣政務官 笹川 博義



環境大臣政務官の笹川 博義でございます。

「低炭素杯2018」の表彰式にあたり、環境省を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

2011年の初開催から数えて8回目を迎えた今年の「低炭素杯」には、全国1,167もの団体からの参加をいただきました。

今日は、30の団体の皆様によるプレゼンテーションが行われ、いずれの団体からも、地域に根ざし、創意工夫に満ちた素晴らしい取組が披露されたと伺っております。

プレゼンテーションをされた皆様、大変お疲れ様でした。そして、文部科学大臣賞をはじめ、既に各賞を受賞されました皆様、誠にありがとうございます。

皆様御存知のとおり、我が国は、2030年度26%の温室効果ガス削減を実現するため、着実に地球温暖化対策に取り組んでいかなければなりません。そのためには、私たち一人一人が、地球温暖化の危機的な状況を正しく理解し、生活のあらゆる場面で、低炭素型の「製品」・「サービス」・「ライフスタイル」を賢く選択する「COOL CHOICE」を心がけ、脱炭素社会を目指して、地球温暖化対策を一層進めていただく必要があります。

本日、この場に集われた皆様には、ここで学ばれた知恵をそれぞれの御地元にお持ち帰りいただき、御地域の皆様に地球温暖化対策の取組の自発的な行動を促していただき、地球温暖化防止活動の輪を、一段と広げていってくださいますことを、心より御期待申し上げます。

結びになりますが、地球温暖化防止活動について学びあい、連携の輪を広げていくための「場」を全国各地にお作りいただいた実行委員の皆様、御協賛・御協力いただいた企業・団体の皆様、そして、縁の下からこのイベントを支えてくださった地球温暖化防止活動推進センターの皆様に、厚く御礼申し上げますとともに、本日御参加の皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

2018年2月15日

## 文部科学省大臣官房審議官 神山 修



低炭素杯2018表彰式の開催にあたりまして、一言御挨拶いたします。

本日、各賞を受賞される皆様におかれましては、誠にありがとうございます。また、惜しくも入賞には至らなかった皆様におかれましても、それぞれの地域において、素晴らしい取組をされているものと承知しております。改めて皆様の日頃からの御尽力に深く敬意を表します。

今、「人生100年時代」とも言われる中、「人生100年時代構想会議」が設置されて議論が行われていますが、ある海外の研究によると2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50パーセントあるそうです。こうした人生100年時代に、子どもから若者、そして高齢者まで、全ての国民に活躍の場があり、安心して暮らすことのできる社会をつくるためには、まず地球温暖化防止を始めとする持続可能な社会が不可欠となります。

文部科学省では、国民が、それぞれのライフステージに応じた環境保全への理解と関心を、様々な機会に深めることができるよう、学習指導要領における環境教育の充実や、青少年教育施設における豊かな自然環境を活用した体験活動の推進等、学校教育や社会教育において、環境教育の推進に取り組んでいるところです。

この「低炭素杯」は、地球温暖化防止に関する優れた取組やノウハウを全国に周知するとともに、プレゼンテーションやポスターセッションを通じ、互いに情報を交換・共有し、さらなる活動へ繋げていく、大変素晴らしい取組だと思っております。

本日お集まりの皆様におかれましては、これまで培ってこられた多くの経験や知見を活かし、引き続き、それぞれの地域で御活躍くださいますよう、そして、地球温暖化防止活動に携わる人材をより多く輩出するため、人材育成にもお力添えいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、低炭素杯2018の開催に御尽力いただきました小宮山実行委員長をはじめ、低炭素杯実行委員会委員の皆様、御協賛・御協力いただきました企業・団体の皆様、事務局の皆様に対し、厚く御礼申し上げますとともに、本日御参加の皆様方の益々の御健勝と一層の御活躍を祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

2018年2月15日